

世帯数 6.436 人口 29.055 男 13.722 女 15.333

12月1日 住民登録調べ

老報 にわうぜん

発行 富山県入善町役場
編集発行責任者 本田清治
印刷所 入善町池原印刷所

昭和41年12月20日発行

No.119

胃の検診

希望申し込みは
一月いっぱいです

脳卒中、がん、心臓疾患など
おもな死因の上位を占める一連
の成人病は、わたしたちの保健
上ほんとうに重要な問題です。
これらの成人病対策の一環と
して、県の成人病予防協会黒部
支部では、検診車による胃の集
団検診を実施して、疾患の早期
発見、早期治療の促進と、がん
予防思想の啓発を意図しており
ます。

〔実施要領〕 希望者に対し、
次により検診を集团的に実施、

一 検診対象

四十才以上の町の在住者

二 検診期日 三月十四日、十

五日

三 検診人員 百二十名

四 申込場所 町民生課衛生係

五 申込締切 一月三十一日

六 検診手数料 一人六百円

その他、詳細は町衛生係（電
話〇一三四）へ

し わす 師 走

街にはジングルベルの音が鳴り響き、歳末商戦もいまがたけなわ……。道行く人の姿にもなにかしら慌ただしさを感じさせる今日このごろです。

師走は仕事に追まぐられ、気もいらだちがちになりますが精神面で一年のしめくりも忘れてはなりません。静かな一時をつくり、一年の反省と新しい年への期待を家族ともどもに話し合ひましょう。

どうかよいお年を迎えられますように……。

写真は 暗やみにつつまれた中町商店街 12月15日うつす



卓重にづくり人

産業構造の改善も

昭和四十年年度は、町勢基盤整備の年として新しい町づくりを方向づけるために、①人づくりの教育 ②健康な明るい環境の町 ③働いて伸びる産業 の三本の柱を基本方針として、少ない予算を最大限に活用するよう努力し、広域行政の推進、産業構造の改善、地域格差の是正にとめてきたわけですが、それではこのほどまとまった昭和四十年年度の収支決算から、町の財政事情をおしらせすることにしましょう。

三千万円を繰り越す

単年度では九百万円の黒字

一般会計

前年に比較してみると、歳入は約四十三万円の増で、総額は四億三千四百三十八万八千二百四十九円。歳出は約九百万円の減で、総額は四億三百四十万四千六百七十円。差し引き三千九十九万三千五百七十九円を翌年度に繰り越しました。

この中には三十九年度からの繰り越しが約二千一百万円ありましたので、実質的には九百六十八万二千三百三十三円の単年度黒字ということになります。

これを内容的に前年度に比べてみてみますと、歳入では、減税を実施したための税収の減、県支出金、寄附金、諸収入が減額となっています。一方、地方

交付税が大幅に伸びたのをはじめ、分担金および負担金、使用料、手数料、国庫支出金、財産収入、町債などが増額になっています。

歳出では、食糧費など消費的経費の節減に努めた結果、総務費が大幅に減ったのをはじめ、衛生費、農林水産業費、災害復旧費が減額となっております。増額になったものは、民生費、商工費、土木費、教育費、公債費です。

このように、毎年財政の規模が拡大され、構造も改善されてきていますが、財源が自主的なものよりも他に依存するものなんだんと移行してきているようです。

慎重に審議

新設された決算特別委員会

昭和四十年年度歳入歳出決算を審議する第十二回入善町議会定例会は、この二十六日に開かれますが、これに先立ち新設された決算特別委員会で慎重に審査されています。

◆委員会が開催された日程

◆メンバー	上田 義信	金沢太一
委員長	嶋田久之	松田幸与作
副委員長	柏原三郎	谷 雪枝
委員		
	11月28日(月)	前9時
	12月2日(金)	〃
	〃 6日(火)	〃
	〃 7日(水)	〃
	〃 10日(土)	〃
	〃 16日(金)	〃
	〃 17日(土)	後1時

世帯員も七割給付

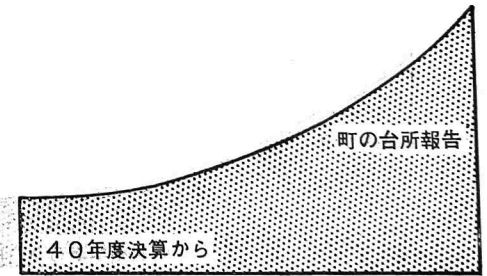
医療費がかさむ国保会計 国民健康保険会計の歳入総額は一億五百五十四万四千七百七十円、歳出総額九千九百三十三万四千八百三十三円で、差し引き六百五十九万九千九百五十七円を四十年年度へ繰り越しました。

このうち前年の繰り越しが約一千四百万円ありましたが、単年度では五百一十八万三千三百八十八円の黒字になっています。

歳出における保険給付額が総額の九十一パーセント以上を占め、医療費額は約八千九百三十

特別会計決算額の内訳

	歳入 (円)	歳出 (円)	差引残額 (円)
国民健康保険事業	105,544,770	99,034,813	6,509,957
簡易水道事業	1,732,309	1,582,954	149,355
公団分収造林事業	1,880,462	1,880,462	0
製炭事業	1,328,369	1,145,900	182,469
建設機械事業	3,565,326	3,072,108	493,218
工場誘致事業	22,780,952	21,160,882	1,620,070



八万円、その件数は六万九千九百八十五件と、受診率は十九・三パーセントの上昇をみせており、四十一年一月から実施された世帯員の七割給付とあいまって国保会計の運営を苦しいものにしていきますので、できるだけ住民検診を受けて、病気の早期発見、早期治療に心がけてほしいものです。

なお、製炭事業と建設機械事業の二つの特別会計は本年度で廃止され、残額は一般会計へ繰り入れされました。

東町団地が完成

西部保育所の建設も

民生

児童福祉のために、昭和四十年四月一日から新屋保育所を開設して、児童七十人を収容し、町立保育所は十一か所となりましたが、東光保育所へ入所する児童が多いので、本年度で入膳西部保育所を新築することになり、工事費八百三十五万円、地上権取得費その他二百八十八万円で施行し、完成しました。

また、入膳東町に県の補助を受け、六十四万円で児童遊園地を完成、安心して遊べるようにしました。

衛生関係では、とくに乳幼児の予防接種にポイントをおきました。また、本年度は近年になく赤痢が多発しましたので、環境の浄化に力をいれ、ネズミの駆除や清掃車ロードバツカーとダンブカーによるゴミ収集など清掃美化につとめました。

失業対策事業

については、日吉一号線新設工事をはじめ、青木二道市線、青島二中学校線、芦崎線、吉原九号線などの改良補修やゴミ収集などに一千五百七十万九千円を支出し、成果をあげています。

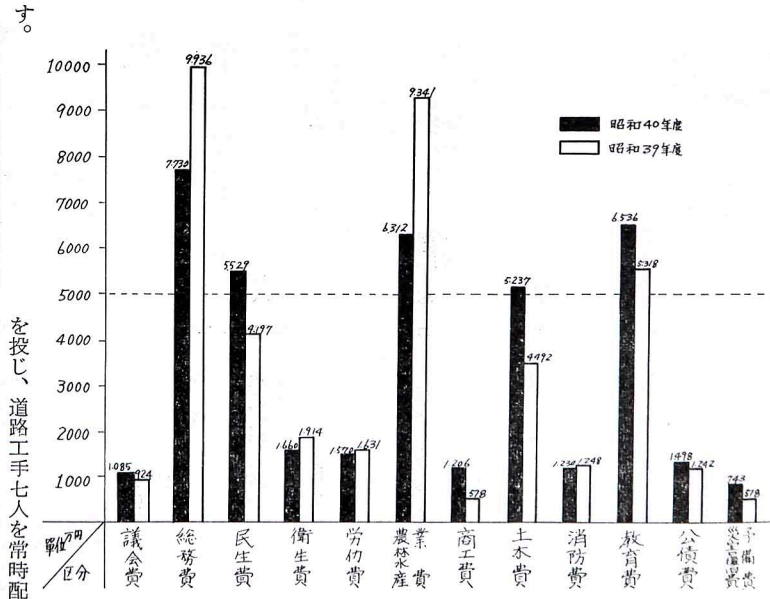
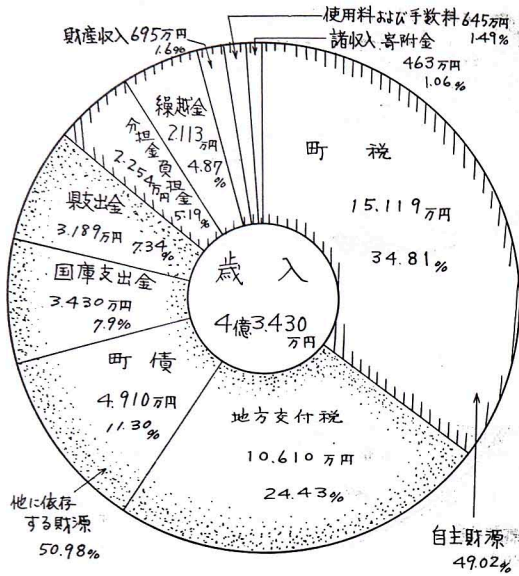
稲作の集団化

すすむ

農林 農業構造改善事業に水産業は、飯野農協が購入した大型防除機四台に対して百五十八万円を補助するとともに町の農業の動向調査を実施するなど、管理指導に重点をおきました。

また、稲作を中心とした生産性の向上をはかるために、技術改良と集団栽培の促進、病虫害防除の徹底に重点をおいています。

一般会計歳出決算額表



国から高度集団栽培促進事業の指定を受けた向島生産組合では、耕起から取り入れまでを共同で行ない、稲作のモデルケースとして注目を集めています。(補助金二百三万円)

土地改良事業には六百七十万円を助成し、農業用水路の改修工事などにも協力しています。

芦崎地内の入善漁港海岸保全整備事業には五百万円を投入して、護岸補強を六十五メートル行ない、侵蝕防止に努めています。漁港の局部改良は、前年に引き続き東防波堤十四メートルの建設を行ないましたが、予想外に難行し、一部を翌年度へ繰り越しました。

また、都市計画事業として昭和三十七年度から続けられてきた入善駅国道線改良工事には、四十年度的に延長二百四十八万円を投入して延長二百七十四メートルを実施し、総延長一千五百二十九メートルを全線完了させました。

また、都市計画事業として昭和三十七年度から続けられてきた入善駅国道線改良工事には、四十年度的に延長二百四十八万円を投入して延長二百七十四メートルを実施し、総延長一千五百二十九メートルを全線完了させました。

道路、橋に

二千万円

土木

道路や橋の維持修繕には五百三十二万円

教育

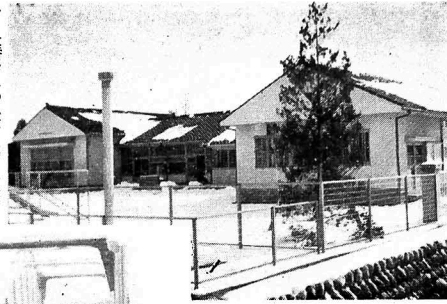
学校教育施設 設備の改善充実のために

小学校費三千六十三万円、中学校費一千九百六十四万円、高等学校費九万円の予算を配し、教育効果の向上に努めました。

66年の話題から



→入膳西部保育所が完成
乳児十人、幼児九十人を収容



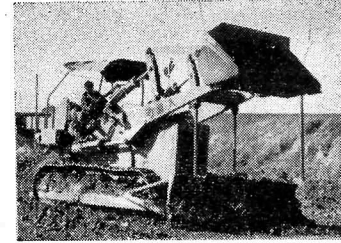
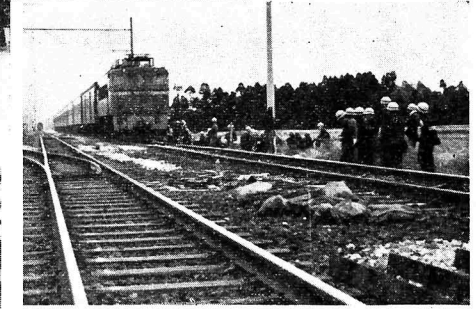
↑町営中央プールが完成
連日一千人が遊ぶ
すかっぱ達で大盛況



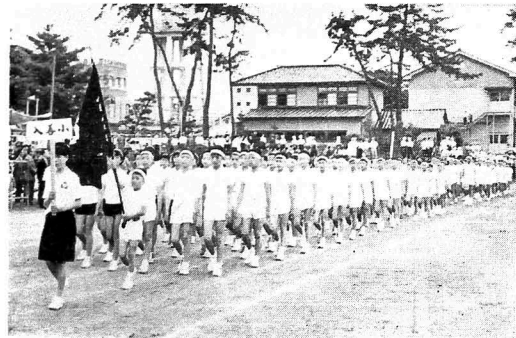
→下黒部橋が完成
十月四日、竣工式を行なう



11月25日 入善駅、西入善駅間の複線化なる

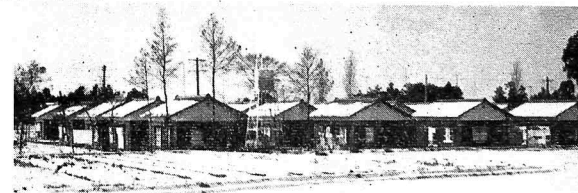


↑入善漁港建設の第3期工事に突入
工事施工者は入善重機



六月一日、第一回日本学校体育大会をひらく
参加者四千五百名
←参入

→町営住宅上野地区建設の第一期工事として二十戸を建設、九月二十日から入居



町民一丸となつての中央プール建設をはじめ、下黒部橋の完成や西部保育所の開設など、となく話題の多かつた一九六六年もあますところあとわずか……
ここらでもう一度、この一年間のできごとをふりかえつてみましょう。

- (一月) 青木分団に新鋭消防車を配置、価格二百四十万円
- (二月) 町長選挙で米沢町長が当選、三期目に入る
- (三月) 町議会定例会で昭和四十一年度予算四億一千五百十万円を可決
- 町議会議員の岩田磯吉氏死去、議会葬を行なう
- 西部保育所が落成
- (四月) 町営中央プール起工
- (五月) 優良納税者十二名、優良納税貯蓄組合十五、善行児童十名、健康優良乳幼児二十四名を表彰
- (六月) 日本体操祭第十回入善大会ひらく
- 北陸線小川鉄橋の複線化工事はじまる
- (七月) 二十五人の新しい農業委員さまる 会長 杉田栄吉、副会長 杉田啓三
- 町営中央プールが完成
- 横山農協の倉庫完成
- 人権擁護委員に竹内弥三、右エ門、米島一信の両氏を再任
- (八月) 永久選挙人名簿できる
- 第一回入善町小中学校水泳記録会を開く
- (九月) 上野団地二十戸が完成
- 決算特別委員会を設置
- 人権擁護委員に野寺林造氏、教育委員に柳沢周造氏を選任
- (十月) 教育委員長に奥田新作氏
- 下黒部橋完成
- (十一月) 入善駅 西入善駅間の複線化なる
- 国勢調査の優良団体として入善町が総理大臣表彰
- (十二月) 入善町誌いよいよ刊行
- 富山市スガキ印刷に落札



第4次自衛官募集中

- ・募集期間 42年2月28日まで
- ・採用試験 42年1月24日
2月21日
午前9時～午後3時
- ・場所 富山市牛島新町
自衛隊富山地方連絡部
- ・申し込み 役場窓口

漁船乗組員養成講習会

- ・期間 42年1月12日～3月10日
- ・会場 黒部市民会館
- ・申し込み
42年1月7日までに入善町
産業課へどうぞ

従業員急募

- ・新和工業株式会社
男子25歳まで 30名
希望の方は役場民生課へ

日曜当直医院

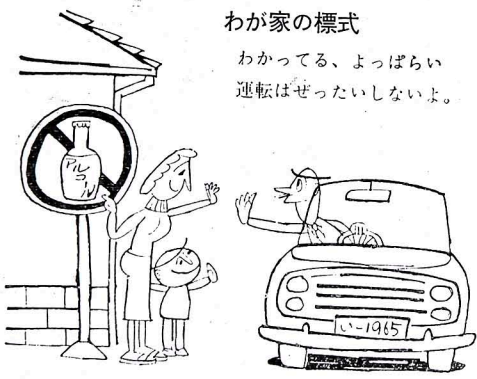
- 1月1日 田村医院
- 8日 永井医院
- 15日 西町医院
- 22日 田中医院
- 29日 森 医院

昭和41年度交通事故発生状況 12月6日現在()内は40年分

区分月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	8 (9)	6 (6)	7 (13)	12 (9)	12 (9)	14 (13)	19 (12)	27 (21)	13 (10)	14 (10)	17 (12)	3 (15)	152 (139)
死者		1	1	1 (1)	2 (2)	1	1	1 (2)	2		2 (1)	1 (1)	12 (7)
傷者	6 (7)	4 (10)	3 (9)	9 (9)	10 (8)	9 (5)	9 (10)	26 (20)	7 (11)	10 (8)	17 (12)	1 (10)	111 (113)

飲酒運転による交通事故 ()内は40年分

月別区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	(1)	(1)	(3)	2 (1)	2 (2)	3 (1)	3 (2)	1 (5)	1 (3)	(1)	(2)	(4)	12 (25)
死者					(2)			(1)					(3)
傷者	(1)	(1)	(1)	2 (1)	2 (3)	2	2 (2)	1 (1)	(3)	(1)		(1)	9 (15)
物件損壊			(2)	(1)		1 (1)	1	(3)	1 (1)		(2)	(3)	3 (13)



寒い時期の安全運転

●中小企業基本調査
経営の合理化や近代化の指針に役立つというもので、県内八百五十五の企業を対象に、事業主にアンケートします。県際経済交流調査
他の地域との経済の関連を明らかにして県内工業の振興をはかるための調査で、従業者二十人以上の製造業を営む事業所を調査します。
いずれの調査も、秘密を守り不利益になるようなことは一切使用しないことになっています。から、正しい記入をお願いします。

・車を運転中の人には、危険であることを告げて酒を出さないようにしましょう。
△建前などの酒は、持ち帰らないようにしましょう。
▽会合などで酒を出す場合にはあらかじめ案内状にその旨記載し、車を運転してこないようにしましょう。

工業統計調査が行なわれます

●工業統計調査
国の工業の実態を調べて、国県市町村などの諸施策の資料とするもので、製造業を営むすべての事業所を対象とします。

やめてください 飲酒運転

一月十四日まで
飲酒運転追放県民運動

これから寒さに向うのと年末年始を迎え、とく飲酒の機会が多くなるところから、例年、飲酒運転による交通事故が多発しております。
酒をのんだら絶対に車を運転しない、また運転させないのローガンのもとに、一月十四日まで飲酒運転追放県民運動が続けられます。
▽料飲店の方は
次のことを行って、町から飲酒運転をなくしましょう。
△車を運転する方は
酒をのんだときは絶対に車を運転しないように。
・酒が出るのが予想されるときは、車を運転して行かないようにしましょう。

新屋、向島生産組合
晴れの農村文化賞

圃場整備事業実施を機会に、高度集団栽培組合の指定を受け品種の統一をはじめ、苗代、耕起整地、田植作業、病虫害防除等すべての作業を共同で行ない著しい効果あげた新屋地区向島生産組合が、十一月三十日、栄ある、第十五回富山県農村文化賞を受けました。

町の農業の現状

実態調査の結果から

入善町の農業経営の現状は、その地区によってずいぶん違ってきます。そして個々の実体によって異なるっており、こんごの経営改善上いろいろの問題点があるようです。

これらの問題点は具体的にどのようなことがらであり、これをこんごのように改善していくかを見出すために、普及所では、地区ごとの個人個人の実態を調査してみました。その結果

がわかりましたので紹介し、これからの改善上の参考に使いたいと思います。

小さい経営規模

第一表でおわかりのように、一戸あたりの平均経営規模は九十六アールで、百アール未満は五十五パーセントも占め、将来の適正規模と言われている。二・五ヘクタールにはほど遠いものになっていきます。このような零細な面積では水稲単作では成り立たないわけで、球根栽培とか飼料作物の裏作等による土地の高度利用が大切と思われれます。

ほとんどが兼業

業態別にみますと（第二表）稲プラス他業（俵給取り、職人等）すなわち、兼業農家が大半の八十パーセントを占めております。専業農家はわずか九・六パーセントで、これらの農家は新屋、棚山、小摺戸地区で占めているようです。他の地区においても、これら専業農家の増加をいかに多くするかがこん

この課題と思われれます。

労働の主体が

老人と婦人に
第三表で示しているように、一戸当り一人でもまかなっている農家が三分の一もあり、しかも老人か主婦がその主体を占めています。

こんごますますその傾向が強くなっていくことを考えますと早急には場整備を完了し、集団栽培によって大型機械の共同利用、農作業の共同化を行ない、労働力が少なくても現在の反収を低下することなく、しかも重労働から解放されることが当面の課題と考えます。（つづく）

体力を養おう

文部省は十一月に青少年の健康と体力に関する白書を発表しました。

それによると、終戦直後は青少年の体格は非常に悪く、その後、食生活の改善とともに栄養も豊かになり、一方では開放的なふんい気や生活環境なども手伝って体格は一段とよくなってきました。しかし、これに伴って体力の伸びは必ずしも十分だとはいえません。体格の向上に見合う体力の充実をはかるにはどのようにしたらよいかということが、今後の大きな課題となっています。

そこで青少年の健康と体力を

保持増進するためには、調和のとれた栄養と適度の訓練、健康に適した環境が必要であり、この三つの要素が調和的に充たされる状態になってはじめて健全な身体が育成されるのです。

栄養面からみると、重要な栄養

養分の摂取が外国と比べて劣っており、特に良質の蛋白質（鶏卵、牛肉、豚肉、肝臓、牛乳など）がたりません。わが国の場合は穀類に頼っている状態であり、これを油脂類、動物性食品に切りかえれば、国際的水準まで保てるのではないでしょう

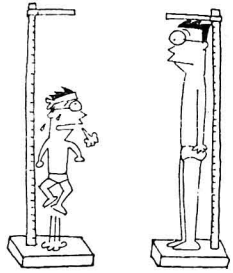


あたたかいご芳志を感謝いたします
入善町善意銀行

現金の部 (11月1日～30日)	
預託(寄附)	内容
役員職員匿名	1,000円 拾得金を
入善高校定時制女生徒(匿名)	891円 誕生日に感謝の意で善銀へ
入膳 6区 藤田与作	1,000円 拾得金を
入善高校生(匿名)	100円 恵まれない人へ(毎月)
入膳 15区 山本正勝	10,000円 歳末たすけあい金
棚山常福寺 仏教婦人会一同	1,000円
6件	13,991円
物品の部	
入善高校2年	ノート 恵まれない
黒東中学出身生徒一同	50冊 児童へと

姿勢ポリリズム

コン・ヒロン
（A9北本新聞より）



背ばかり伸びて……
おいつかぬ体力-体育白書

火事だ！ それ行け

火災が発生すると、それ行けばかりに自動車やオートバイでわれ先につける野次馬がふえています。

火事の状態が気になるのは当然かもしれませんが、消防活動の妨げになるのは困ったものです。十分に注意しましょう。

例年歳末になると火災の発生が多くなります。十二月にはいつからでも四件も出火し住宅二棟を全焼しています。

火の始末はいくら注意しても注意しすぎるといふ事はありません。お互いに火事のない楽しいお正月を迎えたいものです。

第1表 経営規模 1戸当り平均 96アール

面積 a	50以下	50~100	100~150	150~200	200~300	300以上
割合 %	24.3	31.2	27.8	13.7	2.9	0.05

第2表 業態別割合

稲単作	稲+他業	稲+その他(球根酪農など)
11.3%	79.1%	9.6%

第3表 従事人数

1人	2人	3人	4人以上
33.5%	41.2%	19.4%	5.9%

(7) 広報にゆうぜん

入善地区 89人 野口ノリ子 五十里紀久代 栄沢 文夫 岩場 景子 米沢 義孝 車 信政 沢田 正一 上田 京子 五十里智之 宝泉 恭子 小松 敏恵 田中三枝子 五十里和美 宝泉 靖子 沢田 賢昇 柚木 正一 室 美紀子 上原 美好 大角 道生 鍋島 寛 田中 吉松 中田 博和 大角 正明 上田 義政 桜井 純子 青木地区 26人 込尾 幸子 上田 文子 小野田和子 杉沢 寿彦 浜田 由治 池原 敏明 島倉与志貴 込尾 隆義 上田 守 松倉 紀子 上島 幹夫 杉沢 義友 道又 勇 西島 清美 小摺戸地区 16人 青木たみ子 上田 健次 田原 悦郎 荻田久美子 杉沢 義春 米島 公二 立塚 穂子 川原 弘子 川原 弘子 前田 繁雄 井田美智子 小路 街子 高源 順子 中川 洋子 坪野 和子 扇原 賢一 真岩 健次 平沢 富夫 東洋紡 44人 舟川 富子 北山 三夫 板川ヨシエ 高沢 勉 今井 繁勝 川瀬 秀司 宮島ヨシ子 西島 良一 島倉与志貴 坪野 和子 扇原 賢一 真岩 健次 本瀬 憲越 44人 米沢 牧子 加野 峰雄 板川 洋一 今井 繁勝 川瀬 秀司 宮島ヨシ子 西島 良一 島倉与志貴 坪野 和子 扇原 賢一 真岩 健次 本瀬 憲越 44人 竹内 良之 鍋谷 律子 籠瀬 和夫 吉原 国子 上原 一幸 板川 和子 高村奈保子 岩場 淳治 野沢 好子 上田 静子 岩場 憲子 小林 日良 安原 隆憲 高松 照也 草切須恵子 五十里玲子 赤川 桂子 野沢 幸子 五十里街子 竹沢 良子 目沢 進 齊藤 春雄 深川 光夫 島瀬 信義 木田 安子 柚木 京子 川原 幸夫 泉 和男 田中 武志 草島 節子 松倉 松寿 田原 啓子 村田 克美 中田 久子 竹内 和男 草島 陽子 市丸 忠雄 上田 隆人 高森美恵子 広野 力 細田クニ子 浜田二三夫 池原 利夫 柳沢 憲政 竹内 敏平 松本 弘之 草島 泰子 泉 信博 野坂 香 野坂 祐一 池原 葉子 城崎 節子 西野 和子 木本 隆男 西村みき子 中塚 弘子 川口 龍信 伊多 久雄 不破 静子 若島せつ子 池原 好美 青島 紀義 松島 幸夫 中林 慶子 野坂 睦子 志摩美智子 島田美枝子 若島 正春 若島 正春 平崎 光義 安井三千代 柴垣 妙子 荒田 和博 広島 孝子 広田 孝之 伊多 久美 竹田 春生 福沢 昭代 福沢 昭代 福島 智子 白森 信子 高見 義博 滝本 芳子 島瀬奈美子 稲場長太郎 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 竹内 秋子 岡田 義徳 福島 栄市 北川 幹子 広田 信子 高見 義博 滝本 芳子 島瀬奈美子 稲場長太郎 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 米沢 民代 松田ふみ代 福島 智子 白森 信子 高見 義博 滝本 芳子 島瀬奈美子 稲場長太郎 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 四十物隆治 野沢 隆夫 広多 修 西川 誠 広田 町江 林 ヨシ子 竹島 正隆 青木 進 藤田 久進 島 敢 笹島 恵子 吉島 秋芳 野沢 明夫 沼田 初枝 広瀬 秀子 野沢 勇 松岡百合子 松岡 鈴子 桐山地区 20人 高見 幸子 西嶋 克己 荒木自由子 若林 貞子 窪野 耕生 那須 典子

ご成人おめでとう

杉沢 寿彦 浜田 由治 池原 敏明 島倉与志貴 坪野 和子 扇原 賢一 真岩 健次 平沢 富夫 東洋紡 44人 杉沢 義友 道又 勇 西島 清美 小摺戸地区 16人 杉沢 義春 米島 公二 立塚 穂子 小路 街子 高源 順子 中川 洋子 坪野 和子 扇原 賢一 真岩 健次 本瀬 憲越 44人 杉原 明子 前田 繁雄 井田美智子 小路 孝平 荒田由美子 池原 一郎 小城ミツエ 黒部 章 高見 修 舟渡 久之 真岩すみ子 野中地区 17人 杉原 則子 開坂 敏明 志摩 久義 小林 和義 杉本 時枝 松原 薫 橋本 初美 石山 正 鍋嶋恵智子 扇原 泰二 前田 輝夫 山崎真智子 小松 公夫 盛山由紀子 水野 宣昭 上田 邦子 永山とも子 草のぶ子 小坂 孝信 宮島 イネ 石川キクエ 舟見地区 22人 鍋島 桂子 久保 孝彦 中村 恵子 水上登喜夫 野沢 京子 伊野美智子 長谷 一司 弱原 正枝 小林 幸子 田中 勝寛 林 トモ子 磯谷フミ子 中易 嗣男 野寺 新一 横山地区 29人 桑島 孝 金山 悦子 西脇千恵子 青木 俱子 長谷 順嗣 柿山 保治 西田 京子 浜田千賀子 柏原 友子 鬼原 貞男 浜瀬 鉄雄 中野 寛 野寺 道子 鬼原ヨシ子 荒木あつ子 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 長谷 和夫 西田 京子 浜田千賀子 柏原 友子 鬼原 貞男 浜瀬 鉄雄 中野 寛 野寺 道子 鬼原ヨシ子 荒木あつ子 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 長谷 和夫 西田 京子 浜田千賀子 柏原 友子 鬼原 貞男 浜瀬 鉄雄 中野 寛 野寺 道子 鬼原ヨシ子 荒木あつ子 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 新屋地区 33人 高見 幸子 西嶋 克己 荒木自由子 若林 貞子 窪野 耕生 那須 典子

新しい成人者の門出を
祝福しましょう
来年の成人式該当者は昭和21年1月17日から昭和22年1月16日までに生まれた方です。この名簿調製は11月15日現在の住民登録により作製したものです。記載もれの方や、その後の転入転出で移動のあった場合は入善町教育委員会まで申し出てください。なお、この広報をもって該当者の確認資料としたと思いますのでご了承願います。

若林 久子 佐道 静子 恒田ミサ子 入江 尊義 舟本 行直 徳光 京子 若林 睦子 森本 才子 高橋 恵子 内島 栄治 山本 吉人 田中 辰子 藤川かね子 酒井 正子 田辺ノブ子 高見 信子 高山 幸子 下沢シヅエ 籾原 暹子 篠原 渥子 佐渡みか子 坂本 芳子 坂本 芳子 坂本 芳子 森山 初江 坂本 芳子 森山 純子 佐藤 康子 村田 寛子 笠原 富美 望月 祐子 河端千代子 水品 洋子 金川 弘美 小松 公夫 松田 敦子 金沢 貞子 盛山由紀子 水野 宣昭 上田 邦子 永山とも子 草のぶ子 小坂 孝信 宮島 イネ 石川キクエ 舟見地区 22人 鍋島 桂子 久保 孝彦 中村 恵子 水上登喜夫 野沢 京子 伊野美智子 長谷 一司 弱原 正枝 小林 幸子 田中 勝寛 林 トモ子 磯谷フミ子 中易 嗣男 野寺 新一 横山地区 29人 桑島 孝 金山 悦子 西脇千恵子 青木 俱子 長谷 順嗣 柿山 保治 西田 京子 浜田千賀子 柏原 友子 鬼原 貞男 浜瀬 鉄雄 中野 寛 野寺 道子 鬼原ヨシ子 荒木あつ子 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 長谷 和夫 西田 京子 浜田千賀子 柏原 友子 鬼原 貞男 浜瀬 鉄雄 中野 寛 野寺 道子 鬼原ヨシ子 荒木あつ子 浦滝 和子 亀田千恵子 西島 明 西島 明 龜田喜代志 新屋地区 33人 高見 幸子 西嶋 克己 荒木自由子 若林 貞子 窪野 耕生 那須 典子

新有権者感想文募集
資格.....昭和21年1月1日から昭和22年12月31日までに生まれた者
内容.....成人となった喜びと、民主政治とくに選挙に対する新有権者の自覚を内容とするもの
400字詰原稿用紙 5枚以内
しめきり...1月10日(土)まで
入善町選挙管理委員会あて
・最優秀作品は1月15日の成人式上で発表します。



は・か・り・と
く・ら・し

最近わたしたちの日常の生活の中にも、各種のかりが使われるようになりました。

どこの家庭にも、食品の目方をはかる計器や体温計などがあって、くらしの中でたいへん重宝されています。

さて、わたしたちのくらしの中で、どんなかりがあって、どのように役立たせたらよいでしょうか。

①体温計：家庭用のものをぜひ一台ほしい。二千五百円から三千円ぐらい。家族全員で時々体重をはかって、健康状態をみます。おとなは身長から百を引きます。十分の九をかけたものを中心に上下五キロの範囲がよい。

この場合は年齢別標準身長・体重を母子手帳などで調べてそれを基準にすること。

②体温計：あまり古いものは買いかえる。時々お医者さんか薬局にたのんで正しいかどうか調べておく。

二百五十円から三百円ぐらい。婦人用体温計は普通のより目盛りが多い。男性は三十六・八度前後、こどもは三十七度から七・二度が常態。婦人は、変温動物だそう、月の半分は低く、後半は高い(三十七・四度)。

③温度計：とくに冬期の室内温度をはかるのにかかせない。七十円ぐらいからある。装飾をかねたものは千円ぐらいまで。勉強したり仕事をしている時の室内温度は十八度前後がよく、休息のときは二十〜二十二度ぐらいがよいそう。

④湯温計：五十円ぐらい。お風呂はおとなで四十一〜四十二度が適温。あまり熱い湯は感心しません。高血圧の方には禁物です。ぬるい湯にゆっくりはいるのが健康のもとだそうです。

⑤湿度計：暖房してある室にぜひほしい計器。五百円ほど。湿度が五十度以下になったら、ストーブの上でやかんでもかけてください。

このほか、栄養計算尺(千三百円ぐらい)、カロリー計(千六百円ぐらい)、照度計(二千二百円ぐらい)などがあり、さらに液体の容積をはかるます類など、たくさんのはかりがわたしたらの生活の中で、たいせつな役目を果たしています。

これらをみんな備えておくことが理想的ではありますが、一般の家庭ではそこまで手が届きません。しかし、できるだけこうした計器類をそなえて生活の合理化、家庭の健康管理に役立たせたいものです。

生活の合理化で貯蓄を!!

またふるくらしの

ニエヤムダ



くらしと貯蓄

新着図書

- ポケットの穴 山口 瞳
- 山の断想 串田孫一
- こころの瞳 岩手放送
- 哄笑の思想 杉浦明平
- 解放の思想 ホーチミン
- 戦争私書 室伏高信
- 毛沢東と整風 朝日新聞社
- 世界経済のなかの日本 美濃部亮吉
- メレオン島生と死の記録 朝日新聞社
- 緑の日本列島 林 房雄
- 炎は流れる 大宅壮一
- 薬草全科 伊沢凡人
- 新十八史略大の巻 常石 茂
- 若 雄 デイヴィス
- ケネディ上 シュレジンガー
- ケネディと共に サリンジャー
- 中国文明の伝統 香川 宏
- 日本かく戦えり 戸川幸夫
- 気をつけよう健康法 読売新聞社
- 戦艦武蔵 吉村 昭
- 旅人 湯川秀樹
- カラハリ砂漠 木村重信
- 魚津古今記 魚津市教育委員会
- 在伯富山県人家族写真帳 富山県
- 第三次富山県勢総合計画 富山県
- 国民年金事業年報 富山県
- 北陸電力の現状 北陸電力R&K
- 農業改良のしおり 入善町
- 入善町の酪農とチューリップ特作物 入善町
- 図説富山県の文化財 富山県教育委員会
- 大峯の里 盛永俊太郎
- 天神郷土考 牧野正雄

おめでた(出生)

住所	保護者	続柄	なまえ
入膳	上原和夫	二男	由寛
小摺戸	大橋政一	長女	克子
上野	金沢直通	長女	恵子
芦崎	高島勇作	二女	園恵
吉原	大野軍次	二男	文樹
入膳	上田進	長男	進治
舟見	沢井正雄	長女	ゆかり
舟見	長谷重義	長女	菜穂子
入膳	新田忠雄	長女	由美子
入膳	紺田勝美	長女	雅代
下飯野	志摩 実	長女	佳奈子
荒又林	正伸	長男	伸幸
入膳	大田幹男	二男	和成
芦崎	岡田庄一	二男	英明
入膳	飯野真二	長女	恵美
笹原	竹島生二	長男	雅博

おくやみ(死亡)

住所	氏名	年齢	世帯主
横山	亀田 善吉	65	本人
野中	江畑 明美	0	清信
吉原	上嶋 ひと	82	八郎
春日	松田作左衛門	85	本人
新屋	谷田 ふじ	82	喜一
小摺戸	寺林 ふさ	70	末松
入膳	五十里ひろ	64	修作

板屋	糸毛 関二	75	本人
入膳	金山 ふな	52	本人
浦山新	長谷 はる	80	朋良
青木	松岡 つた	77	松栄
入膳	上田 よき	71	常次郎
小杉	高見 モリ	62	正夫
古黒部	谷 つる	84	健蔵
上野	草島 松子	38	秀雄
浦山新	中易 しよう	45	邦光
下飯野	西尾 弘	73	均
君島	綿 ふて	78	兵作
舟見	桑島 とし	74	藤久正
荒又林	村田 量	70	本人
舟見	島田松次郎	68	本人
福島	稲場 つや	81	ミサヨ
木根	小林金次郎	68	本人
新屋	橋本 よせ	91	才次郎
舟見	川内 由太	75	本人